

MEDIA ALERT

2015年2月20日

報道関係各位

ソーラーフロンティア株式会社

PV EXPO 2015へ出展

～ソーラーフロンティアは2016年グリッドパリティへ～

【東京－2015年2月20日】ーソーラーフロンティア株式会社（代表取締役社長：平野敦彦、本社：東京都港区台場2-3-2、以下：ソーラーフロンティア）は、2015年2月25日より3日間、東京ビッグサイトで開催される「PV EXPO 2015」に出展いたします（ブース番号E37-46）。

今回のテーマは「ソーラーフロンティアは2016年グリッドパリティへ」。

太陽光発電がもっと身近になる新しい時代に向かっでの取り組みをご紹介します。CIS薄膜太陽電池の実発電量の高さを活かした各種のご提案はもとより、安全安心をお届けする蓄電システム・HEMS（本年2月16日より受注開始）を導入した新提案もご紹介いたします。また、2015年3月完成を目指して建設が進む東北工場や、現在研究開発中の次世代モジュールの一部についてもご覧いただけます。

2015年は当社ソーラーフロンティアにとって、CIS薄膜太陽電池の事業化からちょうど10年目を迎える節目の年となります。1978年に昭和シェル石油が太陽電池の研究開発をスタートさせ、他社との技術提携などを経てCIS薄膜太陽電池に特化した研究を開始し、その後2005年に事業化決定。ブースでは、これまでの太陽電池に関する30年以上におよぶ技術革新の歴史と併せて、当社の未来を実感いただける内容となっております。

ソーラーフロンティアは、これからもCIS薄膜太陽電池の普及を通して、太陽による快適でクリーンな暮らしをすべての人にご提供してまいります。

以上

【ブースイメージ】



【ソーラーフロンティア株式会社について】

ソーラーフロンティア株式会社は昭和シェル石油株式会社(5002, T)の100%子会社であり、CIS 薄膜太陽電池の生産・販売を行っています。2011年2月より商業生産を開始した国富工場(公称生産能力900メガワット)は、CIS 薄膜太陽電池の生産工場として世界最大です。ソーラーフロンティア株式会社が生産・販売するCIS 薄膜太陽電池は、銅、インジウム、セレンを使用して、当社の独自技術で生産する次世代太陽電池であり、経済効率が高く、環境に優しいことが特徴です。太陽電池の設置容量(kW)あたりの実発電量(kWh)が従来型のものに比較して高いだけでなく、原料からリサイクル処理まで高い環境意識で設計・生産されており、その長期信頼性や保証体制に関しては「JETPvm 認証(JIS Q 8901)」などの第3者機関による認証を受けてきました。デザイン面でも、内閣総理大臣表彰「第2回ものづくり日本大賞」で優秀賞(製品・技術開発部門)、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する「2007年グッドデザイン賞」では特別賞エコロジーデザイン賞を受賞しています。詳細につきましては[当社ホームページ](#)をご覧ください。当社公式の[ブログ](#)、[Facebook](#)、[Twitter](#)でも太陽光発電に関する最新情報などを随時発信しています。

報道関係からの問い合わせ先:

ソーラーフロンティア株式会社 コーポレートコミュニケーション部
吉田・高橋 TEL: 03-5531-5792